

C.C.OiM

vol. **76**
2020.March



平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会



Start up! Go to 2030

つながる力で未来をつくる

2011年、私たちは日本の生協の2020年ビジョンとして「人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現を目指すこと」を確認しその実現のために、さまざまな取り組みを行ってきました。今年はその2020年。

私たちは、組合員のふだんの暮らしを支えるとともに、社会の直面する様々な問題に向き合い、協同の力で社会的な役割を果たし、

2020年ビジョンをカタチにすることができました。そして今、私たちは、新たな課題に向き合っています。

2015年、国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。

SDGsは、まさに生協が目指すビジョンそのものであるとして、2018年「コープSDGs行動」を宣言。

2020年にはその実現のために、2030年ビジョンの策定をすすめています。

組合員と生協で働く誰もが生き生きと輝く生協をつくりあげ、「生涯にわたる心ゆたかな暮らし」

「安心して暮らし続けられる地域社会」と

「誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本」の実現を目指し、持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

広島県生協連 2030 ビジョンの骨子

広島県生協連が2012年に「2020ビジョン」を制定した背景には、2010年代、人々のつながりの希薄化や市場原理主義や規制緩和が進む中、格差社会と貧困連鎖などが社会問題となっていました。そうした中で、国連は2012年を「国際協同組合年」と定め、貧困削減や雇用創出、社会的統合など、協同組合による社会経済開発への貢献に光を当てました。

この期待に応えていくために、協同組合も自己改革を進め、様々な分野で新たな運動と新たな役割が求められました。

広島県生協連も、協同組合と地域の諸団体との連携を目指し、誰もが安心して暮らせる持続可能な地域コミュニティの再生を目指して「県連2020ビジョン」を策定しました。

それから10年経過しましたが、環境破壊は進み、地球温暖化や異常気象による災害などが多発しています。また、所得格差は拡大し、日本でも子どもの7人に1人が貧困であると言われています。

さらに世界各地で紛争が続いており、核兵器の使用の危険も増大。終末時計は100秒まで短くなりました。世界中で様々な問題が起きており、安心安全な暮らしが脅かされています。

こうした社会背景を受けて策定された生協の2030ビジョン策定をもとに、広島県生協連においても2030ビジョン策定に向けて協議を重ねています。

地域とのかかわりを大切に持続可能な地域社会への貢献

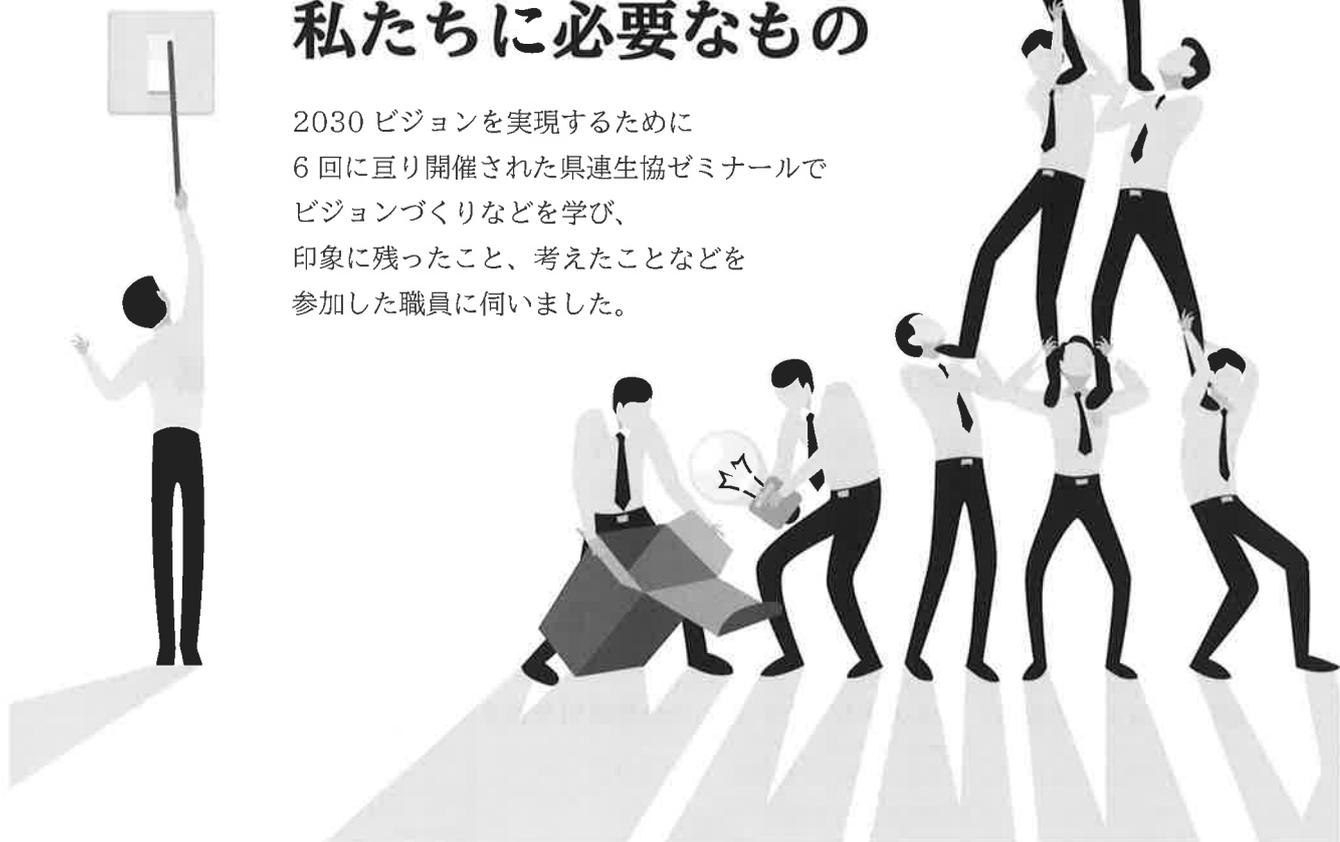
- ・私たちは、誰もが安心して暮らせる持続可能な地域コミュニティづくりへ貢献します。
- ・私たちは、SDGs（持続可能な開発目標）を基軸に2030年にむけた地域循環型社会・経済をめざし実践します。
- ・私たちは、低炭素化社会の実現と自然と調和した共生社会をめざします。
- ・私たちは、組合員のくらしの変化や環境の変化に対応でき、役立つ職員集団を目指し、学ぶ力（教育と訓練）と活かす力（組合員参加）を発揮します。
- ・私たちは、戦争も核兵器もない平和な社会を目指し、被爆体験などを次世代へ継承する活動を進めます。

2020ビジョン引き続き、最も大事にしたい5つの分野を引き続き重点課題として取り組みます。



広島県生協連 2030 ビジョンを 実現するために 私たちに必要なもの

2030 ビジョンを実現するために
6 回に亘り開催された県連生協ゼミナールで
ビジョンづくりなどを学び、
印象に残ったこと、考えたことなどを
参加した職員に伺いました。



連携の必要性を実感！

広島県学校生協 安松華子

今年初めて開催されました県連生協ゼミナールに参加させていただき、他の生協で働くみなさんと話すよい機会となりました。

「SDGs」「魅力的な生協活動・組織の活性化」「ヒロシマの平和活動」「クラウドマネジメント」など、多様な内容について学習しました。講師の先生からお話をさせていただき、その後、ワークショップを行いました。その中で、他組織で働くみなさんの話を聞かせていただき、自分とは違う考え、発想に驚かされたり、感心させられました。楽しく、「生協の未来」や「広島県のこれから」について話をし、考える時間となりました。

今回の学習で「学校生協」に何が生かされるかなと考えたことは、職員間での情報共有をもっと図り、組合員サービスにつなげていくことです。「誰かできなければわからない」ことを少なくしていくことです。職員みんなが、同じ情報量を持つことは、組織の活性化にもなりますし、「働きやすさ」ともつながってきます。いつか、近い将来「生協で働きたい」と就活している学生さんに思ってもらい、一緒に働くなかまを増やしていくことに繋がっていかれたらと思います。

組合員のみなさんから必要とされる、たよりにされる「学校生協」をめざして！

自分の思いを伝える力

生協ひろしま福祉事業部 金尾 幸子

県連生協ゼミナールに参加させていただき、特に印象に残ったことは、「今までの常識や前例が通用しない時代になる。その為にこれからのビジネスマンに求められる『問題意識』『課題発見力』『課題解決力』が未来を創る」「どんなに素晴らしい商品、サービスでも、『伝えたい相手』に伝わらなければ、極論すれば、『無いと同じ』『説明下手』や『演出下手』はも

はや許されない時代へ」という講師の言葉でした。

時代の変化に合わせて何の対策も立てず、今までの当たり前を疑うことなく続けていくことは、大変危ういことであり、その為は今から未来に向けて柔軟に発想し、提言し、実行していかなければならないと思うようになりました。また、他との違いを「一言」で言えるかについて、ゼミナールを受講してから、その点を意識的に考え、問うようになりました。

これから先の生協をどういう組織にしたいのか、そして豊かな未来を迎える為にはどうすればよいのか、一人では出来ないことも生協のつながり、県連生協ゼミナールでのつながり、様々なつながりの力で実現可能になることもこの県連ゼミナールで実感できました。

このつながりを大切に、これまでの生協「らしき」を大切にしながら、これから新しく加わる「らしき」を追求し、これから先もなくしてはならない生協を創り、持続させていきたいです。

枠組みを超えたネットワーク

広島医療生協 健康まちづくりセンター 尾形政樹

印象に残ったのはSDGsについて学ばせて頂いた第5回講座でした。2030までの持続可能な開発目標として17項目のゴールが示されていますが、それらの中には「全ての人に健康や福祉を」といった医療生協ですでに取り組んでいる事柄もあれば、「気候変動への対策」のようなほとんど手付けておらず、今すぐにも学習や取り組みを始めなければならないものなど色々ありました。2030年に自分たちがこうありたいという姿を想像し、それまでにやるべきことを整理して活動しようと思いました。

今日の社会保障、平和、安心安全な社会というものは、1840年代のイギリスの労働者たちを始め多くの先人たちが築き上げてきた成果の賜物であるということを、一連のゼミナールを受講して改めて認識しました。しかし、現在一部の

為政者によってそれらが崩されようとしていることに大変危機感を覚えました。なぜそのような事態に陥っているのか、背景を探りより良い社会の実現のために私達は行動しなければならぬと痛切に感じました。

働く上においては、地域にたくさんおられる組合員さんと一緒に、署名活動やたまり場・居場所作りをさらに発展して明るく楽しく暮らしやすい町づくりをするための運動を推進したいと思います。やはりそこで必要なのは、人と人とのつながりが大切だと感じます。例えば、独居高齢者や生活に困っている方の情報は、その土地に住んでいる近隣の住人が一番知っているのです。行政もできるだけ巻き込んでお互い顔見知りになって、生協運動を知ってもらい、協力関係を築くことが重要であると思います。また地域では、今のようなサービスやビジネスがまだ眠っているか、いち早く要望を入手するためにも、つながり作りは広げていかなければと思います。大手のマスコミなどからは決して流れてこないような小さな声にこそ、生協が活躍できる余地があると考えました。

また自分の生活では、何らかの困難に陥っている人がいた場合、なぜこのような生活や言動をするに至ったのか、社会的背景を探るといふ癖は常に身につけて大切にしていきたいと感じました。見過ごされるような会話の中に手助けが必要な事が含まれていないか耳を傾けるという意識は忘れないようにしたいと思いました。

一人の人間としての目線で考える

こくみん共済coop(広島県労働者共済生活協同組合)

豊村大輔

どのゼミナールにおいても、小さなことから実際に行動に移す重要性(意見をぶつけあう、等)が根底のテーマとして存在し、そこからさらに見識を深めていく仕組みが体系として整っていたと思います。

協同組合として、運動と事業、どちらも大切な視点であり、さらにSDGsの視点において、目指すべきゴールと、その

道のりまでの課題を考える中で、中長期な考え方でいくと、社会とのつながり、他組織との連携が今後益々必要となる旨の説明が印象に残っています。

・物事を深く考え、自分ができることは何か、という意識で、情報を咀嚼する。

・職場である協同組合の成り立ちを理解・発信し、自身の行動に誇りを持つ。

・様々な組織との接点があることから、SDGsを意識したパートナーシップの観点、地域が求める視点で協同組合をアピールしていくことの重要性再認識。

生協で働く一員として、困ってしまう組合員を救う視点、社会全体を俯瞰し、今できることは何か、ということに常に志向し、行動に移すこととあわせ、生協として地域、社会を俯瞰するのではなく、意識としては、地域、個人の視点で生協に何をしてもらいたいのか、という考え方で各種施策を実施することを大切にしていきたいと考えています。

県連生協ゼミナールとは？

県連生協ゼミナールは、会員生協の次世代を担う職員を対象にした、登録制のゼミナールです。生協で働く多様な職員が、生協の価値と理念に確信を持ち、未来志向で日々の業務に挑戦意欲をもって働き続けられることを目的として開催しました。

- 第1講：「生協の未来へ向けて～次世代の職員が担う、近未来予測と行動指針～」
▶広島経済大学教授 メディアビジネス学部長 北野 尚人
- 第2講：「変わっていく暮らしと地域 生協はどうする？」
▶広島市立大学教授 國本 善平
- 第3講：「組織活性化のためには、なにをすべきか」
▶株式会社 NORTH HAND GROUP 代表取締役 北村 聡
- 第4講：「核なき世界の実現に向けた市民社会の取組」
「生協と平和～協同組合の原点に立ち返り未来を展望する～」
▶広島平和文化センター常務理事 岩崎 静二 広島県生協連会長 岡村 信秀
- 第5講：「協同組合とは～共に生きる社会をめざして～」
「誰一人取り残さないずっと続く世界をめざして～SDGsを知って考えよう～」
▶日本生協連合会専務理事 藤井 喜継
- 第5講：「生協の未来を創る～10年後を展望したビジョンづくり～」
▶日本生協連合会政策企画室室長 板谷 伸彦
▶日本生協連合会 政策企画室 炭谷 昇



みなさんから
愛されている

生協ひろしま / 石井 理恵

さすべての人から愛される組織であり続け、より身近に社会とつながりながらすべての人に平和な暮らしを貢献し、永遠に未来につなげていきたいです。



納得して働ける職場

生協ひろしま / 武田 梓

「生協で働いてみたい!!」と言われ「生協で働いて良かったな」と自分自身が言える生協にしたい。生協で働く意味を、職員一人ひとりが考え、組合員さんだけでなく、働いている職員も納得して働ける職場にしたい。



当たり前の存在に

生協ひろしま / 金尾 幸子

さまざまなことが便利になっている世の中になっていたとしても地域の中には、当たり前前に生協があって、生協があるから暮らしが豊かになり、生協があるから安心、と言ってもらえる、そんな組織になっている!

2030年 あなたが想像する生協は？



セミナーに参加した職員に伺いました。※順不同 ※敬称略



連携の中心!

生協ひろしま / 田村 直行

さまざまな組織・団体や行政などと連携し組合員さんはもとより、地域のあらゆる人が安心して暮らし続けていける社会づくりに貢献していくこと。そして、その連携の中心になって生協が主体的に行動していくこと。



みんなが
同じ目標を持つ

生協ひろしま / 大段 政吉

働くすべての職員が、組織に対し愛着を持ち、活気を持って毎日の業務を行っている。そして生協で働くことに誇りを持ち、他の人に自慢できる組織にしていくために職員一人ひとりが同じ方向を向いている!



こころの
よりどころ

コープCS ネット
/ 村上 晴久

SNS で象徴されるような「個が繋がる」時代が進むこと、また SDGs の取り組みを進めていく動きの中で再び「協力の力」への着目が高くなるのではないかと考えています。今回の研修を通して学んだ「変わらない理念」の部分大切にしながらも、時代に即した対応をフットワーク軽く行なっていかなければならないと思いました。地域医療福祉のために地域生協と医療生協が連携するなど協同組合間連携を強めることも必要です。組合員さんの生活に向き合い、不安や孤独などのお悩みから解放できる「こころのよりどころ」としてお役に立てる生協でありたいと考えています。



利用したいと
思われる

生協ひろしま / 奥原 裕史

ご利用いただいている組合員さん、これから生協にご加入いただく未来の組合員、生産者やメーカーの皆さん、これか働きたいと思う学生さん、働いている生協の職員、それらを支えてくれる方々、そんなたくさんの方が利用したいと思える生協でありたい。



生協ひろしま / 政藤 省治

行政・企業・地域・組合での連携



連携の輪が広がる

生協ひろしま / 岡部 裕之

会員生協、行政、諸団体の連携の輪が広がり供給事業の発展と組合員活動が活発に行われることで、模範となる地域循環型社会を構築し、広島県内の組合員さんが安心して暮らせる持続可能な地域コミュニティが実現された、平和で豊かな社会になると想像します。



日立造船因島生活協同組合 / 大石 浩司

孤独から
組合員を守る

超高齢化と少子化という問題を抱えています。日立生協は行政や地域のさまざまな団体と協働し、不安の中、孤独に生活せざるをえない組合員さんをつくらぬ生協を目指す。



生協ひろしま / 丸岡 裕美

自動運転！
ドローン配送！

10年後の生協はまず自動運転やドローン配送になっていると予想します。人手不足の問題は、ある程度機械が解決してくれていますが人しかできない仕事を生協ひろしまの人材が担うようになってほしいです。「10年後住みたい街 No.1 に広島がなる」というテーマでグループ討論をさせていただきました。保育園を生協が運営してお迎えの時間に合わせて生協の移動店舗が訪れるなど様々な意見が飛び交いました。住みたい街 No.1 に広島がなる時にその中心に生協があれば素晴らしいと思っています。そのための人材確保のためには、会社に行かなくても仕事ができる環境、少しの時間だけでも働けるシステムを作って働き方の多様化ができていることが絶対条件だと思います。



生協ひろしま / 森平 啓喜

人気企業
ランキング復活！

高齢化社会、労働人口減少の中、若い世代の就職先人気企業ランキングに「生協」の名前を復活させる。安全・安心はもちろん働きやすい環境の「生協」、組合員さん、職員双方からやっぱり「生協だね。の声」が広がる組織の強化。



生協ひろしま / 奥川 隆昭

組合員と
職員の
ステータス

今後、加速していく高齢化社会、頻発する自然災害、SDGsをはじめとしたさまざまな社会問題について、生協の役割は高まっているが、大きな問題を解決の方向へ導いていくために、組織の枠を超えた連携が進んでいる。現在、世界の協同組合は260万組織、約10億人の組合員さんが存在している。世界中で保護主義が台頭し始めているなか、賀川豊彦の教え「一人は万人のために、万人は一人のために」の社会を実現するための「協同組合の中心思想」が見直され、生協をはじめとした協同組合の役割と存在感が増している、所属している組合員と働いている職員のステータスとなっている。10年後にはこんな生協を創るために、微力ながら与えられた期待に応えていきたい。



生協ひろしま / 坂田 弘子

知名度
No.1

環境問題・大気汚染が深刻化する中、「食」に対する関心が再び高まりを見せ、生協が組合員から最も求められる「食の安心・安全」に支持率が集まり、知名度 No.1 の組織になっていると思います。



生協ひろしま / 井手之上 健彦

優しい組織

「購買生協・医療生協・学校生協・住宅生協など」協同組合同士が同じ理念を掲げ、連携を図っている。全く先の読めない10年後（超高齢化・人口減・さらなるIT新時代）に我々がやるべきことは、協同の力で立ち向かい、すべての人に寄り添える優しい組織になることだと思います。



広島大学生協 / 浜田 文子

提案できる
組織

大学生の「学食住」を支える事業をさらに深めたい。社会に出る前に、「生きる力」を育むための学びや体験を、さらに提案できる組織でありたい。



広島県学校生活協同組合 / 安松 華子

気軽に身近な
存在

職域生協として組合員さんの生活をサポートをする組織でありたいと思います。「あっ、生協に聞いてみよ。」と組合員さんに思ってもらえるようになってほしいです。



生協医療生協 / 尾形 政樹

皆さんから
慕われる

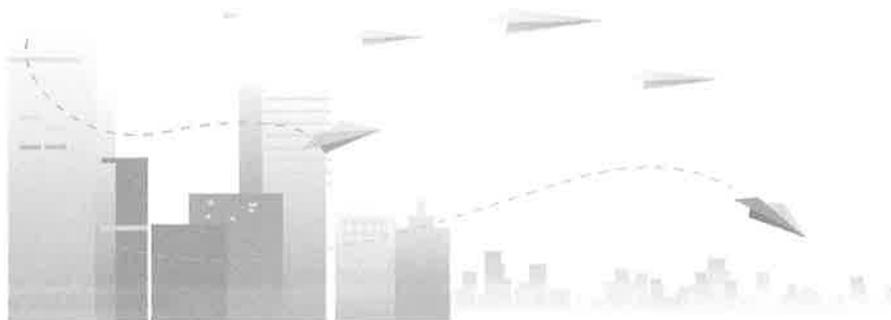
生協で働いて良かった！生協の組合員で良かった！と職員も地域の人からも聞こえてくる生協になりたい。



コープCS ネット / 田中 由美子

職員がいきいき！

これからの10年20年を考えたとき、人口は減少し続け、労働人口にいたっては、広島県だけでも今後20年で約33万人減ることが見込まれています。これからは外国人や高齢者も働きやすい環境をつくり、AI、自動化を進め、人手が足りないところを補っていく必要があります。職員がいきいきと働くことにより、組合員さんへより良いサービスが提議でき、生協の強みが生きると考えています。





2020新春のついでに
SDGsを基軸にした
組織戦略と環境問題への対応

とき・1月9日

ところ・メルパルク広島
主催・広島県生協連

国連が提唱しているSDGsは、世界共通の課題とされ、日本でも政府主導で推進本部が設置され行政、民間企業、市民など動きが出てきつつあります。2030年を「ゴールとするSDGs」に関しては、私たちにも継続した取り組みが求められています。

『2020新春のついで』では、生協の事業・活動に役立てるた

めに、日本総研創発戦略センターシニアマネジャー 村上 芽氏を招き、気候変動など環境問題を含めた世界情勢の潮流を学びました。

セミナーでは、これから環境問題が、世界レベルで取り組むべき大きな課題になっていくことや経済活動にも影響を与えていくことを強調し、スピード感をもって取り組む必要があることを説明されました。

今回のセミナーで、2030ビジョン実現の重要性を、全生協会員が再確認。着実に成果を上げていくために何をすればいいのか、改めて考えるきっかけになりました。



村上 芽氏

交流会

いのちの章典実践交流会開催

とき・1月29日

ところ・生協けんこうプラザ
主催・広島中央保健生協

1月29日(水)、広島中央保健生協は、「いのちの章典実践交流会」を開催し、組合員と職員合わせて93名が参加しました。

会場では、NPT再検討会議派遣費用のカンパを目的としたバザーや、組合員さんらが、お寿司やコーヒーを販売するなど、とても賑わっていました。

初めに広島県生協連 高田公喜専務理事による「地域社会とのかかわりを大切に、持続可能な地域社会への貢献」SDGsと生協の多様な取り組み」と題して講演があり、クイズなども入れながら楽しくSDGsについて学びました。

続いて、5名の方から取り組みの紹介がありました。笑いケア道場、福島生協病院リハビリテーション科、支部活動、子ども食堂「生協わくわくぱーてい」、

訪問看護ステーションコープはつかいちからの報告がありました。どの報告も地域や組合員との関わりについて活き活きと活動される様子が目に浮かぶようでした。

グループ討論では、「SDGsについて初めて知った」「若い人たちにどう理解してもらったらよいか」「SDGsって日常生活の中で自然と行っていることが分かった」「つながりが大切であると思った。オレオレ詐欺もつながりがあれば防げるのでは」「医療生協で大切にしていることがSDGsにつながっている」「わくわくぱーてい(子ども食堂)は、子どもの貧困の問題から始まった」など、活発な意見が出されていました。

今回の交流会で、組合員や職員が日頃大切にしている「つながり」や「いのちを大切にすること」などをあらためて感じることができた交流会でした。

今後も更につながりを広げ、持続可能な社会を目指して取り組みを続けることが大切であると感じました。

「報告・広島県生協連 山下知子」



和気あいあいとした雰囲気の中でグループ討論



幅広い年代が集まった会場



講師の高田専務理事

研修

組合員の生活を最期まで支える
トップケーススタディ研修

とき・2月6日～7日

主催・広島県生協連

広島県生協連では、毎年会員生協のトップ層による先進生協への視察研修を実施しています。今年度は、奈良県の社会福祉法人協同福祉会を福祉・介護委員会の4つの生協の専務理事など11名で訪問しました。

協同福祉会は、奈良県最大の購買生協である「ならコープ」が支援して1998年に設立されました。54名定員の特別養護老人ホームでスタートし、現在は複合拠点を19ヶ所展開しており今年の春には更に2ヶ所を開設します。そこでは、「10の基本ケア」をケアの基礎として、地域組合員の生活を最期まで支える為の複合機能を併設した拠点を展開し事業を進めています。今回は本部・特養と、2つの複合拠点を訪問しました。複合拠点の「あすならホーム郡山」では、

デイサービス、シヨートステイ、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、グループホーム、ケアプランセンターの7つの事業所が併設されています。地域の組合員を最期まで支える為の介護サービスの中でも、地域密着サービスは市町村による総量規制の対象なので、先手を打って指定を受けることを重視しています。

また、保育園の運営をはじめ、サロン活動、買い物バス、地域での繋がり連絡員制度、子ども食堂など、地域に向けた法人活動も積極的に取り組んでいました。「報告・広島県生協連 岡崎晃」



協同福祉会本部と特別養護老人ホーム「あすなら苑」



ならコープ本部敷地内にあるサービス付高齢者住宅



グループホーム 堀こたつ式のテーブルを設置



訪問したメンバーの皆さん

行動

医療・福祉・くらしの

安全を求めて、
バレンタイン宣伝行動!

とき・2月14日

ところ・福山駅前

主催・福山医療生協

2月14日、組合員6名(まちづくり委員と年金者組合員)と職員12名で『虹のバレンタイン宣伝』に取り組み、医療福祉生協連のSDGsのカードを入れたティッシュを400個配布しました。

昨年からの消費税10%増税でくらしも景気もひどくなる中、「国民健康保険制度の改善を求める請願署名」(福山市議会3月議会に約2000筆を提出)と「75歳以上の医療費窓口負担の原則2割化反対署名」も合わせて取り組みました。

福山市の国民健康保険加入世帯の一人当たりの保険料は18万5800円で、所得に占める保険料負担率は15%に上ります。これは協会けんぽと比較すると2倍以上の負担であり、子ども

の7人に1人が貧困状態にあるといわれています。また、国民健康保険税(以下、国保税)は、収入のない子どもにも均等割(一人年額3万2040円)が課税されるため、世帯の負担は大きくなります。

このような、高すぎる国保税の引き下げ、特に「子ども均等割」の全額免除を求めて宣伝しました。私達はこれからも、住民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、地域で行動していきます。「報告・福山医療生協 組織部 花岡利明」



参加した皆さん

FISE ファイセ ワールドシリーズ ヒロシマ 2020 WORLD SERIES HIROSHIMA 2020

入場無料

※事前の入場登録が
必要です。



アーバンスポーツの祭典が今年も広島を熱くする！

昨年は延べ 10 万人以上が来場し、大いに盛り上がった FISE。
今年も、東京オリンピックで日本人のメダル獲得が期待される BMX パークや、
初めて国際体操連盟の世界選手権として開催されるバルクールなど、7 種目を実施。
世界を代表する選手達が広島に集結します！

開催日時：2020 年 4 月 3 日（金）～ 4 月 5 日（日）

開催場所：広島市中央公園、広島県立総合体育館 小アリーナ

**開催種目：BMX フリースタイル パーク、
BMX フリースタイル フラットランド、
スケートボード ストリート、バルクール、
ボルダリング、ローラーフリースタイル、ブレイキン**

※大会内容が大幅に見直される場合がありますのでご注意ください。
イベントの開催など最新の情報は [FISE HIROSHIMA] 公式サイトでご確認ください。

地元選手を応援しよう！ \ 前回大会の活躍の様子は /

[こちら広報課 FISE](#)

[Q Search](#)

お問合せ / 広島県地域政策局スポーツ推進課 ☎082-513-2647



消費者トラブルの手口を知りましょう⑬

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。
消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないように、
また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

契約条件は自分でよく確認！ [インターネットでの旅行予約]

(2018 年 7 月 3 日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第 312 号より)

インターネットで海外航空券の
申し込みをしたが行けなくなった。
キャンセルをしたいが電話も
つながらず、メールを送っても
返信が来ない。(70 歳代 男性)



インターネットで 4 月先
の海外のホテルを予約した。
翌日キャンセルしたが、
高額な解約料を請求された。
(60 歳代 女性)



- ①インターネットでの旅行予約は店舗での予約と異なり、対面で詳しく説明を受けることが出来ません。利用規約等をよく読み、予約内容やキャンセル、変更などの契約条件は、申し込みの前に自分自身でよく確かめる必要があります。
- ②サイト運営事業者の基本情報（名称、住所、代表者、日本の旅行業登録有無等）や顧客対応窓口への問い合わせ手段等を確認しておきましょう。
海外事業者が運営するサイトの場合は日本語対応の可否等も調べましょう。
- ③申込時には、予約内容が確認できる画面をよく確認しましょう。
予約後は予約確認メールをすぐ確認することが大切です。
不測の事態に備えて画面を印刷し、精算が完了し旅行が終わるまで保管しましょう。



困ったときは、
お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。
(消費者ホットライン 188)

第 5 回理事会報告

- 開催日 2 月 27 日
- 出席 理事 18 名中 15 名出席
- 議決事項
 - ・2020 年度通常総会上程議案について
 - ・会費規程の一部改定について
- 協議事項
 - ・広島県生協連 2030 ビジョンの策定について
 - ・2019 年度活動報告、2020 年度活動方針について
 - ・2019 年度決算予測、2020 年度収支予算について
 - ・2020 年 NPT 再検討会議について
- 報告事項
 - ・常務理事会専決事項
 - ・2019 年度県連生協ゼミナール報告
 - ・2020 年新春のつどい開催報告
 - ・西日本豪雨災害被災者支援報告

第 5 回組織平和委員会報告

- 開催日 2 月 5 日
- 主な協議・報告事項
 - ・2020 ピースアクション in ヒロシマ企画について
 - ・2020NPT 再検討会議に向けた取り組みについて
 - ・2020 「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集いについて
 - ・2020 市民平和行進について
 - ・ヒパクシャ国際署名広島県推進連絡会活動報告
 - ・SDGs に関する学習及び情報提供

第 4 回福祉・介護委員会報告

- 開催日 2 月 12 日
- 主な協議・報告事項
 - ・2020 トップケーススタディ研修振り返り
 - ・各生協の 2020 年度方針について

SDGs 達成に向けた会員生協の取り組み①

「一人は万人のために 万人は一人のために」という協働組合の理念のもと「誰一人取り残さない」という SDGs に取り組む会員生協の取組をご紹介します。



自治体と

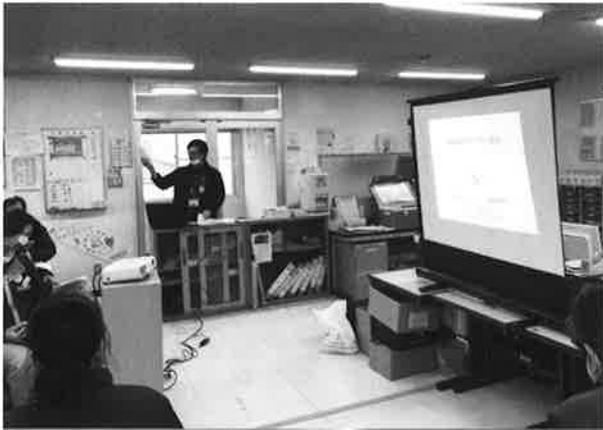
相互機能を活かして

少子化対策や子育て支援、

高齢者支援に

取り組んでいきます。

生協ひろしまは2019年3月に、広島県健康福祉局との連携協定を締結。少子化対策や子育て支援、高齢者支援中心に県民のくらしの向上を目的に定期的な意見交換、連携項目の整理し前進して行くことを確認しました。その後、10月に生協ひろしまで初となる包括連携協定を東広島市と締結。続いて、廿日市市、竹原市、熊野町、府中市の5つの自治体と包括連携協定の締結を行いました。今後、協定内容に基づき、妊娠から子育てを支援する「ネウボラ」の構築、高齢者支援、こどもや高齢者の見守り、健康増進・食育、教育文化の振興などSDGsの開発目標の共通する課題を自治体と相互機能を生かして取組み、だれもが安心して住み続けられる地域作りと持続可能な共生社会の実現に向け取組んでいきます。既に、竹原市では高齢者の見守りの具体的な取組みとして市内を配送エリアに持つ生協ひろしま三原支所と連携し配送職員を対象とした認知症サポーター養成講座が実施するなど協定の実践に向けた取組みも始まっています。



三原支所で行われた認知症サポーター養成講座の様子



竹原市との包括連携協定調印式
(前列右が今榮 竹原市長、左は生協ひろしま横山専務理事)

組織概要

- 設立：1971年5月 ● 代表者名：理事長 恵木 尚
- 組合員数：398,784人（2019年3月） ● 事業高：41,890,097千円（2019年3月）
- 事業所：店舗数 8 / 支所 17 / 配色センター 11 / 福祉事業所 16 / 商品センター 1 グループ会社 8 / くらしの助け合い 3
- 所在地：廿日市市大野原 1丁目 2-10

現在、パネル展「すずさんの四季の暮らしノート」を開催。
映画で描かれた四季の暮らしや風物詩にスポットをあて、
映画のシーンと写真などで当時の暮らしや四季の様子を紹介しています。
5月6日まで



すずさんとの出会い

広島市郷土資料館とは

広島市郷土資料館は一九八五年（昭和六十）五月に開館した市立の歴史博物館で広島市南区宇品二丁目にあります。館内は海苔や牡蠣養殖など伝統的地場産業を紹介する常設展示のほか、企画展、郷土史講座、フィールドワーク及び年中行事・技術を学ぶ教室などの教育普及事業を行っています。また、秋は小学校団体の利用も多く、館内は社会学で訪れる子どもたちで賑わいます。

建物は一九一一年（明治四十四）に建設された旧陸軍糧秣支廠の工場を改装したものです。糧秣支廠の「糧」は兵士の食べる食糧、「秣」は軍馬の飼料、「廠」は工場・役所のことです。ここ糧秣支廠では兵士の食糧として牛肉の缶詰を製造しており、被爆前は、旧国鉄宇品線沿いにあった被服支廠（軍服、靴などの調達・補修）や兵器補給廠（兵器の調達）とともに軍都広島を象徴する施設でした。レンガ造の建物は明治の近代洋風建築の技術と意匠が残されており、そのレトロな外観に惹かれて結婚式の前撮りに訪れるカップルも見られます。

映画「この世界の（さら）に（さら）に（さら）に」

さて、表題の「すずさん」です。すでにおわかりのことと思いますが、現在公開中の映画「この世界の（さら）に（さら）に（さら）に」の主人公・北條すずさんのことです。映画は主人公が生まれ育った広島と嫁ぎ先の呉を舞台に、戦時色が次第に強まる中で工夫を凝らしながら戦中戦後をささやかに、かつ懸命に生きる姿を描いた作品です。緻密な文献調査や聞き取り、現地調査をもとに描かれた一つひとつのシーンは当時の暮らしを臨場感豊かにまたリアルに再現しています。

すずさん一家と海苔養殖

映画の原作者この史代氏によると、すずさん一家の家族・海苔養殖は当館の展示からヒントを得たそうです。かつて海苔養殖は広島を代表する産業でした。広島湾一帯は干満の差が大きく、干潮になると干潟が広がっていました。また、栄養分を豊富に含んだ太田川が広島湾に注いでいました。このため広島湾は海苔養殖が盛んでした。常設展示には海苔を摘むときに使ったオケやカゴをはじめ、手漉きや天日干しの道具など養殖関連の資料を展示しています。こうした氏の漫画にはこれら道具や天日干し、海苔漉きの様子が丁寧に描かれており、当館の展示がお役に立てたことを大変光栄に思います。と同時に、すずさんへの親近感もひとしお感じます。

すずさんとの出会いを縁に

すずさんとの出会いは当館の事業展開に一石を投じました。わずか二年の間で、作品の時代設定である戦時下の暮らしをテーマに企画展を開催したり、関連する常設展示を更新したり、また、こうした氏をお招きしてトークショーを開催するなど、すずさんを介して事業の幅が随分と広がったのです。海苔養殖の展示をきっかけとしたすずさんとの思わぬ出会いでしたが、当館にとっては大きな出会いにつながりました。これからもこの縁を大切に、事業の充実を図ってまいりたいと思います。皆様のご来館を心からお待ちしております。



広島市郷土資料館 館長
高野 和彦

一九五六年（昭和三十）広島市生まれ
一九八〇年（昭和五十五）広島市役所入庁
主に文化・平和行政に携わる
二〇一七年（平成二十九）市役所を定年退職後、現職

編集後記

広島に現存する最大級の被爆建物「広島陸軍被服支廠」の存続について、広島県が1棟のみを残して解体する方針を打ち出したことで、多くの県民から保存を求める声があがっています。被服支廠は、戦時中軍服などを製造する軍需工場でしたが、原爆投下にも倒壊することなく、被爆後は救護所としても使用されていました。被爆建物は、戦争もたらした原爆の悲惨さや人々の苦しみを物語っています。被爆の実相や歴史を語る被爆建物存続の是非を皆さんはどう考えますか。（山下）

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町 2-6-11 第7ウエノヤビル5F
TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100
e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp URL:http://hiroshima.kenren-coop.jp